

# 安心・安全で環境にやさしいまちづくり

防犯・交通安全対策

消防・救急

防災

ごみ対策

自然環境

環境対策

斎場・墓地

し尿処理

住宅政策



## 5. 安心・安全で環境にやさしいまちづくり

### (1) 防犯・交通安全対策

#### 現状と課題

- 地域の協力のもと、「子ども110番の家」を設置し子どもたちを犯罪から守る取り組みをしています。
- 通学路安全マップを作成し、危険個所の周知を図っています。
- 防犯灯の少ない生活道路があることから、防犯の問題も懸念されます。
- 小中学校において防犯標語の募集を行い、児童や生徒の防犯に対する意識の高揚を図っています。
- 地域でのスクールガードや小学校での交通安全教室に取り組んでいます。
- 朝夕に生活道路でスピードを出して通過する車輛が多くみられます。
- 住民に身近な生活道路が狭いため歩行者と自動車とが錯綜する箇所があり、その対策が求められています。
- 狭い生活道路に路上駐車が多く、その対策が求められています。

#### 施策の方向

##### 【基本方針】

住民が自ら地域の安全面や防犯面について積極的に取り組むことによって、町全体の安全なまちづくりを進めていきます。

交通事故を防止し、交通災害のない安全なまちづくりに必要な交通安全施設整備を進めるとともに、住民の交通安全意識の高揚を図ります。

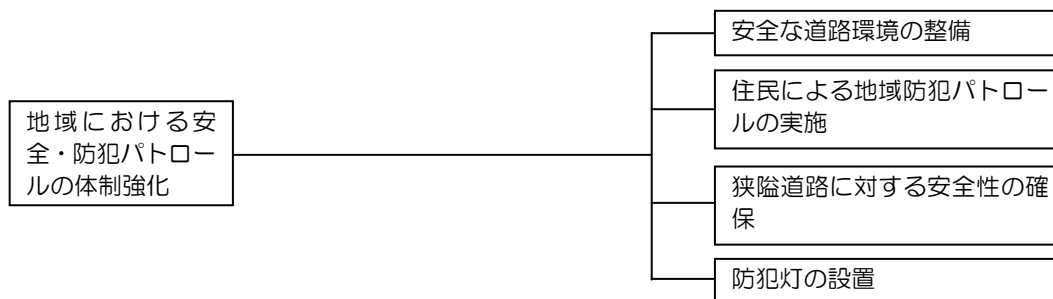
##### 【施策の概要】

- 町防犯協会、住民と警察が連携し防犯パトロールを行い、安心で安全な環境づくりに取り組んでいきます。
- 地域からの防犯灯設置要望については今後も調査し、継続的に設置していきます。
- 住民に路上駐車危険性の周知を図り、路上駐車を無くし安全な交通環境を整えていきます。
- 幅員の狭い道路では、時間帯により自動車の通行を規制するなど、安全性の確保について検討します。
- 関連機関と連携し、交通安全施設整備の拡充を図ります。



第4次与那原町総合計画 基本計画  
Ⅲ 施策の方向

【施策の概要】



【参考データ】

■交通事故発生状況

	発生件数			
	死亡	重傷	軽傷	合計
平成17年度	1	7	73	81
平成18年度	—	13	86	99
平成19年度	—	7	87	94
平成20年度	—	17	83	100
平成21年度	—	13	71	84

(与那原警察署)

## (2) 消防・救急

### 現状と課題

- 与那原町、南風原町、西原町の3町により東部消防組合が組織されており、消防・救急活動を実施しています。
- 町内には消防車が入れないような狭隘道路も多くあり、消防、救急活動に支障を来す恐れがあります。
- 公共施設へのAEDの設置を行っています。
- 緊急災害時に地域で共に助け合う意識が薄れてきており、地域の安心・安全のため自主防災組織の拡充が求められています。
- AEDが未設置となっている公共施設への早期設置が求められています。

### 施策の方針

#### 【基本方針】

住民自らの生命と財産を守るため、消防・救急に対する町民意識の向上を図ります。複雑多様化する消防・救急活動に対応できる自主防災組織の拡充を図ります。

#### 【施策の概要】

- 自主防災の組織率の拡充を図り、定期的に防災訓練を実施するなど、地域で火災時や救急時に対応できる人材の育成を図ります。
- 火災に強いまちづくりを図るため、狭隘道路の拡幅や一時避難場所の確保等に努めます。
- 災害時や急患などに際して、適切な判断により対応できるよう講習会等を開催し、応急手当などの知識の普及を図ります。

#### 【施策の概要】



第4次与那原町総合計画 基本計画  
Ⅲ 施策の方向

【参考データ】

■火災発生状況

区分	発生件数（件）	災害見積額（千円）
平成17年度	15	20,775
平成18年度	16	52,483
平成19年度	49	17,567
平成20年度	36	17,345
平成21年度	28	7,376

資料：東部消防組合

■救急活動状況

区分	出動件数（件）	搬送人員（人）
平成17年度	545	518
平成18年度	564	546
平成19年度	578	558
平成20年度	616	562
平成21年度	572	543

資料：東部消防組合

### (3) 防災

#### 1) 防災計画の周知、防災に関する人材の育成

##### 現状と課題

- 町では、「与那原町地域防災計画」が策定されており、災害時の対応が示されています。
- 災害時の避難場所や避難経路を確認しておくことは、住民にとって重要なことから、全世帯へ「防災マップ」を配布しています。
- 過去の大規模災害においても、共に助け合う活動により多くの人命が救われたことから、地域における自主防災の重要性が再認識されています。
- 災害時に地域において、主体的に活動する自主防災組織の結成が求められています。
- 町の上空を通過する軍用機が多く、騒音による被害をもたらすだけでなく、軍用機事故による危険性も否定できません。
- 安全・安心のまちづくりの観点から、町の上空を通過する軍用機事故による危険性の除去が求められています。

##### 施策の方針

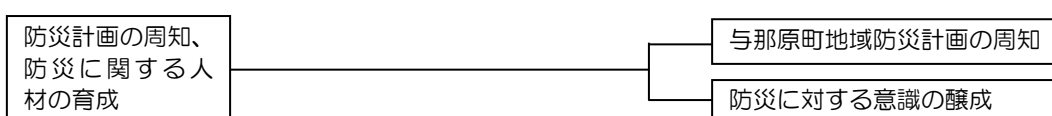
###### 【基本方針】

自主防災組織の拡充や防災知識の普及・防災訓練の実施に努め、災害時に地域自らが行動し、安全・安心なまちづくりを進めていきます。

###### 【施策の概要】

- 災害時における避難場所や避難経路を住民一人ひとりが認識できるよう、防災マップ等による住民への周知を図ります。
- 各地域において防災訓練を行い、住民の防災に対する意識の醸成を図ります。
- 自主防災組織の拡充強化を図ります。
- 町の上空を通過する軍用機の飛来回数の軽減や回避が図られるよう関係機関と連携していきます。

###### 【施策の概要】



## (4) ごみ対策

### 現状と課題

- 家庭や事業所のごみ収集において、5種分別を実施し、焼却ごみの排出量の抑制やごみ処理施設の負担軽減を図るとともに、リサイクル資源の分別回収に取り組んでいます。
- ごみの分別や排出抑制、処理施設の整備、生活排水処理全般に関する基本方針については、「与那原町一般廃棄物処理基本計画」の中で定めています。
- 家庭や事業所より収集されたごみは、東部清掃施設組合において中間処理がおこなわれており、もえるごみは焼却処理、もやさないごみについては破碎や圧縮処理をおこなっています。
- 最終処分については、焼却残さ、破碎や圧縮処理後の残さ、粗大ごみ及び危険ごみを外部へ委託処理していますが、自区内処理方式への転換を求められています。

### 施策の方向

#### 【基本方針】

循環型社会の構築を目指し、家庭や地域において、ごみの分別を徹底するとともに、引き続き生ごみ処理機の導入に支援を行い、ごみの減量化や排出量の抑制に取り組めます。

#### 【施策の概要】

##### ① 最終処分場の整備

- 最終処分場については、関係する市町で積極的に協議をおこない、広域的な施設整備を進めます。

##### ② 資源ごみの分別

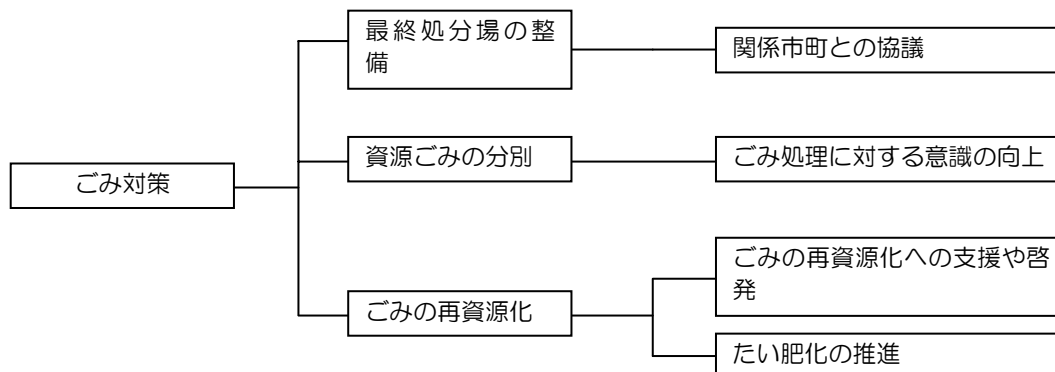
- 家庭や事業者に対して、ごみ処理意識の向上と排出抑制方法・分別方法等の普及に努めます。

##### ③ ごみの再資源化

- 廃油の再利用など、ごみの再資源化の取り組み支援や啓発に取り組めます。
- 生ごみ処理機の導入に対する助成を継続し、生ごみのたい肥化の推進を図ります。



【施策の体系】



【参考データ】

本町の東部清掃施設組合へのごみ処理状況

	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	搬入台数 (台)	搬入数量 (t)	搬入台数 (台)	搬入数量 (t)	搬入台数 (台)	搬入数量 (t)	搬入台数 (台)	搬入数量 (t)	搬入台数 (台)	搬入数量 (t)
委託業者(※1)	2,311	2,672	2,280	2,675	2,217	2,669	2,135	2,554	2,271	2,644
許可業者(※2)	1,979	1,554	1,798	1,498	1,509	1,393	1,867	1,386	2,235	1,495
一般持込(※3)	406	67	389	59	426	51	438	50	389	51
合計	4,696	4,293	4,467	4,232	4,152	4,113	4,440	3,990	4,895	4,190

資料：平成21年度 東部清掃施設組合 組合概要

※1 家庭ごみからのごみを収集する業者

※2 事業者からのごみを収集する業者

※3 住民や事業者が直接搬入するごみ

## (5) 自然環境

### 現状と課題

- 本町は、北西にそびえる運玉森（158m）、東南の雨乞森（133m）にいだかれ、東に中城湾を望む豊かな自然環境に恵まれています。
- 緑地や海岸など貴重な自然環境においては、住民参加の環境美化活動などが行われています。
- 貴重な自然環境の保全を図るとともに、河川や海岸の護岸整備などにおいては、親水性の確保や自然環境に配慮した整備が求められています。

### 施策の方向

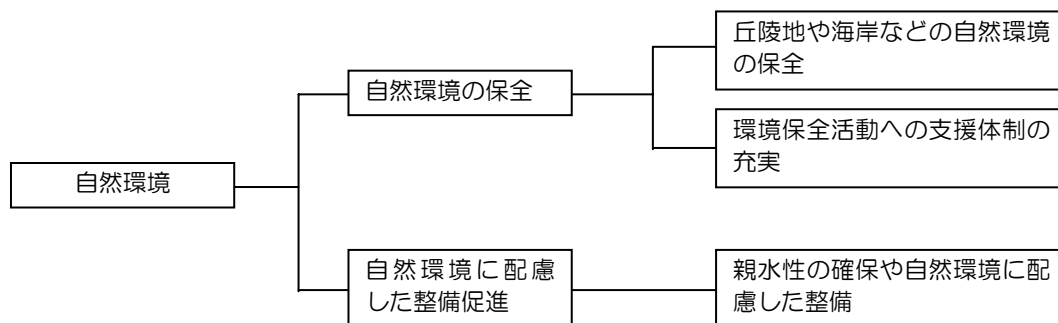
#### 【基本方針】

自然環境の保全と再生に向けて住民による清掃活動を積極的に行うとともに、住民活動を支援する体制づくりを確立し、住民の健康で文化的な生活の確保に寄与することを目指します。また、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するとともに、自然環境に配慮した施設整備を行います。

#### 【施策の概要】

- ① 自然環境の保全
  - 雨乞森、運玉森の丘陵地や海岸等、貴重な自然環境の保全に取り組みます。
  - 海岸などの環境保全活動を行う住民に対する支援体制の充実を図ります。
- ② 自然環境に配慮した整備促進
  - 護岸整備については親水性の確保や自然環境に配慮した整備を促進します。

#### 【施策の概要】



## (6) 環境対策

### 現状と課題

- 環境対策は、地球温暖化など地球規模のものから、廃棄物の不法投棄など身近な問題まで、多岐に渡ります。
- 本町は「京都議定書目標達成計画」に基づき、「与那原町地球温暖化防止実行計画」を策定し、温室効果ガス削減に取り組んでいます。
- 本町は、国道329号、国道331号など交通の要衝となっており、交通渋滞により二酸化炭素や二酸化窒素などの排出量が多い状況にあります。
- 省エネルギーの推進や、自然エネルギーの活用、自動車交通からの転換などの、温室効果ガス排出削減に向けた総合的な取り組みが望まれます。
- 住民や事業者及び行政の協働により、一人ひとりの環境問題に対する意識の向上が求められます。
- 犬猫の糞尿被害や徘徊犬などの問題については、飼い主のモラル向上が求められます。

### 施策の方向

#### 【基本方針】

環境に配慮した生活スタイルを確立するため、徒歩や自転車利用、公共交通の利用率向上、ノーマイカーデー設定等の積極的な導入により、CO<sub>2</sub>排出の削減を目指した社会環境の整備を図ります。また、公共施設や家庭において節電化や節水化などを積極的に行うことや、愛玩動物の愛護及び適正飼養の普及啓発を図ることで、環境への意識向上を促進します。

#### 【施策の概要】

- ① 自然エネルギーの活用と省エネルギー化の奨励
  - 公共施設や民間建築物に対して、太陽光発電等自然エネルギー機器の設置、断熱材やLED導入などを奨励し省エネルギー化に取り組めます。
- ② 公共交通・自転車交通などの利用促進
  - 自家用車等から公共交通への転換を図るため、新たな公共交通システムの導入に取り組めます。
  - 自転車利用に配慮した道路整備を図り、環境に優しい自転車利用の普及に努めます。
- ③ 温室効果ガス排出抑制
  - 地産地消によりフードマイレージ(※8)削減を促進し、温室効果ガスの排出抑制を図ります。

## 第4次与那原町総合計画 基本計画

### Ⅲ 施策の方向

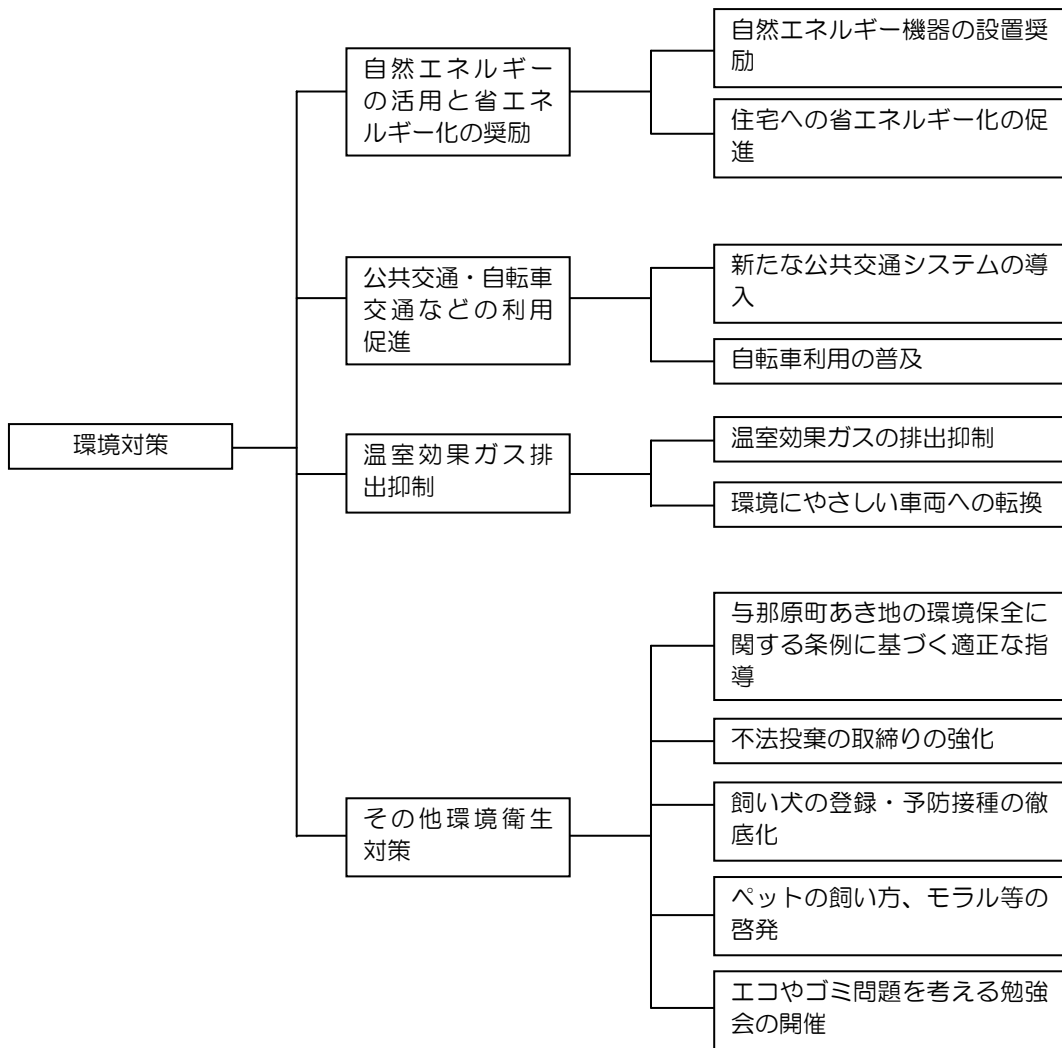
(※8 食料の輸送量と輸送距離を定量的に把握し、食糧の輸送に伴い排出される二酸化炭素が地球環境に与える負荷を指標化したもの)

- 公用車については、環境にやさしい車輛への転換を図り、温室効果ガスの排出を抑制します。

#### ④ その他環境衛生対策

- 「与那原町あき地の環境保全に関する条例」に基づき、管理者に対して適正な維持管理を指導し、火災・犯罪等の発生を防止することにより、良好な生活環境の保持に取り組みます。
- 不法投棄の防止の取り組みについては、関係機関と連携し、パトロールを強化します。
- 「与那原町飼い犬条例」に基づき、飼い犬登録の徹底と正しい飼養方法を指導し、犬による人畜に対する危害の防止に取り組みます。
- 動物愛護団体など関係機関と連携し、ペットの飼い方、モラル等について情報提供や啓発を行います。
- 地域において親子でエコやゴミ問題を考える勉強会を開催し、環境活動を支援できるリーダーの育成に取り組みます。

【施策の概要】



## (7) 斎場・墓地

### 現状と課題

- 本町やその近隣にも斎場がないため、浦添市や豊見城市にある斎場を利用しています。
- 公的斎場については、町民の要望に対応できる施設の建設を、隣接市町と共同で広域的視点からその整備を促進し、町民の利用の円滑化と負担の軽減を図る必要があります。
- 本町においては墓地が点在し、町内在住者による墓地申請のみでなく、町外からの申請もあります。
- 「与那原町墓地基本整備計画」に基づき、適切な行政指導を行なう必要があります。

### 施策の方向

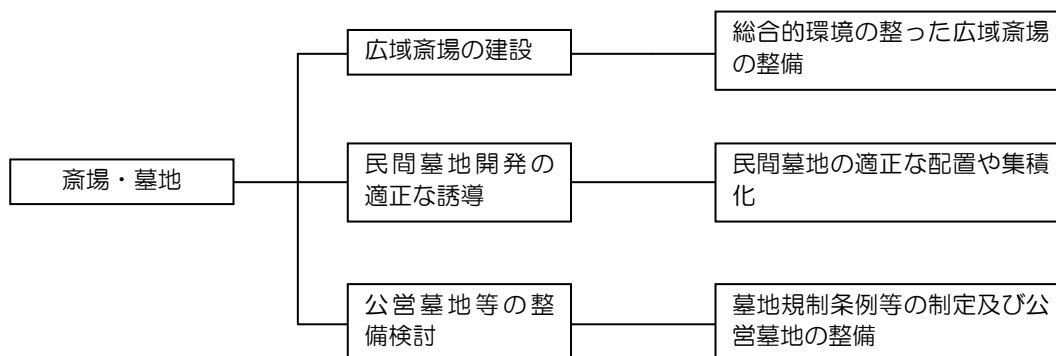
#### 【基本方針】

斎場については、構成する自治体と協力して、近代的設備や駐車場等総合的環境の整った広域斎場の建設に取り組みます。また、墓地については、墓地の適正な配置や集積化に取り組みます。

#### 【施策の概要】

- ① 広域斎場の建設
  - 斎場については、構成する自治体と協力して、近代的設備や駐車場等総合的環境の整った広域斎場を建設します。
- ② 民間墓地開発の適正な誘導
  - 民間墓地開発については、「与那原町墓地基本整備計画」に基づき、適正な配置や集積化に取り組みます。
- ③ 公営墓地等の整備検討
  - 墓地については、墓地規制条例等の策定や公営墓地の整備について検討します。

【施策の体系】



## (8) し尿処理

### 現状と課題

- 本町のし尿処理の状況は、単独浄化槽や合併浄化槽による処理のほか、くみ取りによるし尿処理が一部残っています。
- 浄化槽については、適正な維持管理が必要ですが、清掃や保守点検が不十分なものがあ、河川や海域の水質悪化の一因となっています。
- し尿処理場については、施設の老朽化などにより建替えが必要です。

### 施策の方向

#### 【基本方針】

老朽化が著しい、し尿処理場については、組合を構成する自治体と協力し、早期の建設に着手し供用開始を目指します。また下水道整備地域における汲み取り便所及び単独・合併浄化槽については、速やかに下水道へ接続することを進めます。

#### 【施策の概要】

- し尿処理場については、組合を構成する自治体と協力し、早期の建替えを目指します。
- 下水道未整備区域においては、供用開始までの間、合併浄化槽による処理を推奨します。
- 浄化槽使用者に対しては、浄化槽の清掃、保守点検及び法定検査の履行について、保健所との連携により徹底指導に取り組みます。

#### 【施策の体系】



#### 【参考データ】

本町の東部清掃施設組合へのし尿処理状況

し尿処理 人口 (人)	平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	くみ取り 便所人口	単独・合併 浄化槽人口	くみ取り 便所人口	単独・合併 浄化槽人口	くみ取り 便所人口	単独・合併 浄化槽人口	くみ取り 便所人口	単独・合併 浄化槽人口	くみ取り 便所人口	単独・合併 浄化槽人口
	590	12,238	581	12,216	402	11,734	375	11,337	354	10,958
合計(人)	12,828		12,797		12,136		11,712		11,312	
搬入数量(kl)	2,519.3		2,300.9		2,495.0		2,410.4		2,091.6	

資料：平成21年度 東部清掃施設組合 組合概要



## (9) 住宅政策

### 現状と課題

- 本町における公営住宅は、江口団地、阿知利団地の町営住宅が5棟108戸、県営与那原第2団地1棟53戸があり、建替え予定の県営須利原団地、県営与那原団地3棟190戸となっています。
- 沖縄県福祉のまちづくり条例に基づく高齢者や障がい者にやさしい福祉社会の実現に向けて、住宅整備に関しては、公営住宅の環境整備、個人住宅の整備支援等が考えられます。
- 低所得者や、高齢者、罹災者など多様な住宅困窮者に対するセイフティーネットとして住宅の確保に努めることが望まれます。
- 町営住宅については、適切な維持管理により、長寿命化を図る必要があります。

### 施策の方向

#### 【基本方針】

町営住宅については、住宅困窮者に対して、優先的な入居を図ります。また町営住宅の点検の強化及び適切な維持管理や修繕によりランニングコストの削減を図り、建物の長寿命化に努めます。民間住宅については、高齢者や障がい者等に配慮した住環境整備を支援します。

#### 【施策の概要】

- 町営住宅については、低所得者、高齢者や障がい者など、その他住宅困窮者に対して、優先的な入居を図ります。
- 民間住宅については、住宅改造やリフォーム等の情報提供や相談窓口など、高齢者や障がい者等に配慮した住環境整備を支援します。
- 「与那原町営住宅長寿命化計画」を策定し、これに基づく建物の長寿命化に努めます。

#### 【施策の体系】



第4次与那原町総合計画 基本計画  
Ⅲ 施策の方向

【参考データ】

■公営住宅の概要

	建設年度	戸数	備考
町営江口団地 A	H17	12	
B	〃	18	
C	〃	16	
D	〃	26	
町営阿知利団地	H21	36	
県営須利原団地			平成24年度5月完成予定
県営与那原団地	S50	48	平成25年度5月完成予定
	〃	72	平成26年度3月完成予定
県営与那原第2団地	H2	53	